

★檀家さんに聞く 佐川町黒岩 岩崎扶佐子さん



大皿に盛られた手作りのおばんざいが並ぶカウンター奥、オープンの中で表面だけ薄っすら焼かれた明太子の香ばしい香りが漂ってきました。

「良い感じやんか〜♡、ふさちゃんこれベスト！」

こだわりの要望が見事に実現されたお客さんの声に、このお店を一人で切り盛りされる扶佐子さんの笑顔がこぼれます。



☺まだお父さん(ご主人)が生きちゆう時でね、今ちょうど坊さんが座ちゆうその席から店を見渡しながら「ああ、落ち着くにゃ〜。」って言うてくれてねえ。

🍷始められてから何年ぐらい経ちますか？

☺14年ぐらいになるろうか。前のオーナーの人が店を閉めてからひと月ない間にオープンしたのよ。電気配線をし直したり、壁を塗り替えたり、お父さんと息子に手伝ってもらってねえ。



🍷お店を続けて行く中で、何が一番大変でしたか？

☺ん〜、やっぱり人間関係よねえ……。お酒が入るとついつい言われ過ぎることもあったし。でも私も店を続けていく為に、言われて許せんことはズバッと言うきねえ。それで私まで呑んじょったら喧嘩になってしまうろう(笑)、だから昔から店では一滴も呑まんが。

🍷料理を作るだけでも大変やのに聞き役までこなすのはさぞかし……。

☺お客さん同士でもいろんな話がされるきねえ、そんな時は私はゴミ箱にならないかんがよ。店での話は家族にさえ話したことないきねえ。

🍷最初と比べて変わってきたことは何ですか？

☺お陰様で段々と常連さんも増えてきて、自然とお客さん同士で愚痴の言い合いをしてくれるようになって私も楽になった。(笑)

店開ける日は、午前中に買い出し行って午後は仕込みをするろう、それから10時に締めるまで全部一人でやりゆがね。やき、たまにオーダーを忘れてしもうちゆう時もあるって、そんな時はお客さんが優しく教えてくれる。「ふさちゃん、手が空いたら次〇〇お願いね〜。」とか言うてくれてね、有難いことよ。

(←忙しい時の生ビールはお客さん自らサーバーに向かいます。♪)

🍷正に人情酒場ですね〜……。

☺やっぱり自分の心掛を良くしていかないかん。年がいったお父さんにも先死なれて、そこからだんだん見えてくるものがあるって、自分の至らんとこがようわかってくるのよねえ。



我が家の仏壇は今は近所の息子の家にあるがやけど、いつも嫁さんがちゃんにご飯を供えてくれちゆう。私も毎日シキミの水を替えて「今日も店で皆が仲良く和気あいあいと居れますように。」って祈りゆうで。



＜居酒屋ふさちゃん＞

国道33号線から越知の商店街に入っすぐ、坂本葬儀社の斜め向かい。

＜定休日＞

🍺木曜 ・ 日曜🍺